

(別記)

## 令和3年度御代田町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当町は、年間を通して冷涼な気候条件を生かし、レタス、キャベツ等、葉物野菜の転作作付けが盛んな地域であるが、農業従事者の高齢化等により農家戸数が減少するとともに、不作付地も増加してきている状況にある。このことから、主食用水稻の作付面積を維持する中で、野菜に加え地元ニーズが高まってきているそばや大豆等の調整水田等不作付地への転作推進により、水田のフル活用を図り、不作付地解消を実現していく必要がある。

### 2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当町の課題として収量の増加、品質の向上が挙げられる。種子更新等を行っていたが制度変更3年目ということもあり、すでに定着しているため、新たに要件を設ける必要がある。要件については地元ニーズが高まってきているそば、麦、大豆の栽培の際の基本技術である排水対策や適期播種、土づくり等を補助の対象とし品質の向上、収益力の強化を行っていく。

### 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

毎年7月～8月にかけて、水田の利用状況と転作確認を行い、今後も水稻作に活用される見込みがない不作付地の水田については、畑作物への転作を推進する。

また耕作者の高齢化や相続により不作付地となっている水田については、農業委員会や農地中間管理機構と連携を図り、畑作物への転作可能な耕作者の発掘とマッチングを行う。上記により水田の有効利用を図り、不作付地の解消と畑作物の収量増加を目指す。

### 4 作物ごとの取組方針等

#### (1) 主食用米

米の生産数量目安値を考慮し、必要に応じ他品目作付への転換を進める中で、高品質米の生産・安定取引の推進を図る。

#### (2) 備蓄米 なし

#### (3) 非主食用米 なし

ア 飼料用米

イ 米粉用米

ウ 新市場開拓用米

エ WCS用稲

オ 加工用米

#### (4) 麦、大豆、飼料作物

麦・大豆については、収益性向上の取組実施により、単収の増加・品質の向上を図る中で、不作付地の解消を進め生産面積を拡大し、水田フル活用・収益力強化を目指す。麦は、商工会が推進する郷土料理「おにかけうどん」の地元産の原材料として地産地消のニーズから地元のみそ工房への供給の推進を図る。

(5) そば、なたね

そばについては、収益性向上の取組実施により、単収の増加・品質の向上を図る中で、不作付地の解消を進め生産面積を拡大し、水田フル活用・収益力強化を目指す。現在、作付されている品種は信濃1号が大半であるが、韃靼そばのニーズも高まっていることから、更なる推進を図る。

(6) 高収益作物

冷涼な気候を生かした野菜の栽培が盛んであり、市場評価も高い。産地交付金を活用し、レタス類、ハクサイ、キャベツ、ブロッコリーの4品目を軸に、その他野菜も含めた生産面積を向上させ、水田フル活用・収益力強化を目指す。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物	前年度作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	令和5年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	74.8	74.0	73.0
備蓄米			
飼料用米			
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS用稲			
加工用米			
麦	0.8	0.9	1.2
大豆	0.9	1.0	1.3
飼料作物			
・子実用とうもろこし			
そば	13.2	13.5	14.0
なたね			
高収益作物	47.1	47.4	48.0
・野菜	46.2	46.4	46.8
・花き・花木	0.1	0.1	0.2
・果樹			
・その他の高収益作物	0.8	0.9	1.0
畑地化			

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	そば・麦・大豆	そば、麦、大豆の収益性向上の取組	収益性向上の取組による生産面積、収量の増加	(2年度) そば 13.2ha・100kg 小麦 0.8ha・207kg 大豆 0.9ha・77kg	(5年度) そば 14.0ha・103kg 小麦 1.2ha・210kg 大豆 1.3ha・80kg
2	野菜4品目（レタス類、ハクサイ、キャベツ、ブロッ	地域振興作物（野菜4品目）への助成	生産面積の増加	(2年度) 46.2ha	(5年度) 46.8ha

	コリー)				
3	その他野菜、花き・花木、果樹	地域振興作物（その他野菜等）への助成	生産面積の増加	(2年度) 0.9ha	(5年度) 1.2ha
4	野菜、花き・花木、果樹（整理番号2、3の対象作物）	高収益作物等拡大加算	生産面積の拡大	(2年度) 0.6ha	(5年度) 0.9ha
5	そば	そばへの助成	生産面積の増加	(2年度) 13.2ha	(5年度) 14.0ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。